

ロイ・リキテンシュタイン

ROY LICHTENSTEIN

満腹家 もぐもぐ



ジャズを好み、友人と
ジャズクラブに足し
く通り、自らもジャズ
を演奏した。

一九三八年には、ジャズ・
クラシネット奏者ベニー・
グッドマンがクラシック
の殿堂カーネギー・
ホールで行った史上初
のジャズ・コンサートに
足を運び、歴史的
瞬間に立ち会って
いる。



ニューヨーク・スクール・オブ・ファイン・アート・アンド・アーライド・アート(現パーソンズ・スクール・オブ・デザイン)の土田翠の水彩画のクラスに参加。



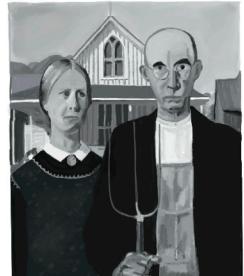
八年生から私立の男子校フランクリン・スクールに通い始める。高校ではフランス語やラテン語などを学び、学外では絵を描き、クリケットを始めた。



その秋、当美術の
学位を取得できる教
少ない教育機関の
ひとつだ。オハイオ
州立大学に進学。



この頃、ニューヨークはまだアートの中心ではなかった。



The image shows the iconic painting "American Gothic" by Grant Wood. It depicts a man in a dark suit and a woman in a light dress standing behind a wooden fence in a rural setting. The man is holding a pitchfork. The painting uses a dark, somber color palette and a flat, angular composition.

當時、アメリカでは一九三〇年代の大恐慌と呼応する
ように起つた中西部の田舎の風景や、そこで働く
労働者の姿を描く芸術運動、リージョナリズム
(地域主義)が主流だった。ニューヨークも例外ではなく
が、た。



トジナルビ・マニショ「14丁目に3」1934年

一九四〇年、フランクリン・スクールを卒業。アート・スクールでデント・リーヴ・オブ・ニューヨークの夏期講座でアメリカの画家レジナルド・マーシュ(ハガーハー一九五四年)のもとで伝統的な絵画技法を学ぶ。

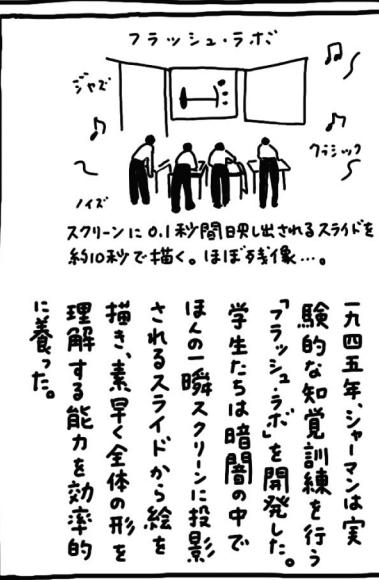


「チャーチス・バッターマン」1942年

1940年11月から12月にクリーブランド美術館で
行われたピカソの回顧展で、《ゲルニカ》を見たと考えられる。



な作家の一人に挙げると、パドロ・ピカソ（「ハバーーだ
セニ年」）の『ゲルニカ』（一九三七年）を見る。



リキテンシュタインは大学在学中にシャーマンの「ラッシュ・ラボ」を使用でいなかつたが、美術系教員時代には、自ら製作したストロボプロジェクトーを用い、シャーマンの理論論を引き継ぎて授業を行った。

一九四五年、シャーマンは実験的な知覚訓練を行って「ラッジュラボ」を開発した。学生たちは暗闇の中でもほくの一瞬スクリーンに投影されるスライドから絵を描き、素早く全体の形を理解する能力を効率的に養った。



ホイト・L・シャーマン

大学では、美術やデザイン以外の分野も幅広く学んだ。特に、ホイト・L・シャーマン（一九〇三—一九八二年）から学んだ物の見方は、その後のリキテンシュタインの芸術観に深い影響を与えた。

物や物の間の空間に
等しく焦点を合わせて、
全体として見る。

一九四三年二月に徴兵され、アメリカ各地で訓練を受け、翌年十二月よりヨーロッパに駐留。軍では主に制図工として働いて地図の製作に携わる。

司令官のために米軍の「星条旗新聞」に連載されていたビル・モールディン(1921-2003)の漫画を拡大して描くことも。

一九四六年除隊し帰国。オハイオ州立大学に復学し、学士号を取得。修士課程に進み、同大学で得。修士号を取得。講師として働きながら学業を継続。一九四九年修士号を取得する。一九五一年に失職。一九五一年に失職する。学生の急増がひと段落する。徴員兵接護法に担当する。(徴員兵接護法による)

人物、おとぎ話、植物などを描く。
パウル・クレー風? ジョアン・ミロ風?



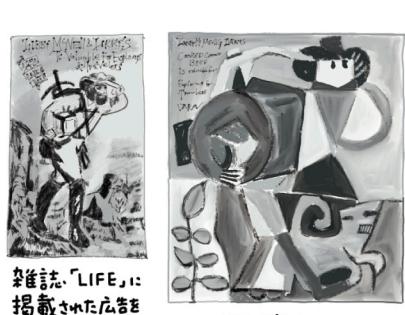
「美女と野獣 I」1949年

1949年、イザベル・ウィルソンと結婚(1965年に離婚)。1951年にクリーブランドに移り、製図工など様々な仕事に就きながら、画廊への持ち込みを始める。

組織化された知覚こそが美術にかかわる全て



一九五〇年頃から、キャンバスを回転させ、横向きや、逆さまにして、描き始める。さらに鏡を用い、反転した絵を見る。何を描くかを離れて、主題を單なる構図に集中する。うつむき、主題を抽象化し、構図の開きを置き、ものとのイメージが離れて、距離をとくという考え方から距離を離れて、距離を置く。また、そのイメージから離れて、距離を離す。すると、動きを感じる。



雑誌「LIFE」に掲載された広告をもとにしている。
「探検家」1952年頃

キュビズム風

实物に近い比率の10ドル紙幣のリトグラフ



「10ドル紙幣(10ドル)」1956年

この時其月の作品は、看板やネオンサインなど現代的な題材を取り入れ、キュビズムを基調とした糸会画を描き、ポップ・アートの先駆者といわれるスチュアート・デイヴィス(1892-1964年)の影響が見られる。

△ 5歳児の落書きのようと評される。△



「Charging the Castle (Study)
城に突撃(習作)」1950年

エマニュエル・ロイヤー(1816-1868年)による
「テラウェア川を渡るワシントン」(1851)の画解説



「テラウェア川を渡るワシントン」1951年頃

一九四〇年代後半から一九五〇年代には、騎士に加え、アメリカ史や西部開拓時代の題材をヨーロッパのモダニズム絵画の方法で描く。



「Yard」(庭)1961年
ハーフニングでは既製品、日用品がよく使われた。

一九六〇年、ニューヨーク州立大学美術の助教授に就任。同僚のアルン・カーフィーローラード、ロバート・ワット、ホーリット・マン、ジム・ダイアン(一九三五年-)のファンに訪ね、新しい芸術を作り出す。動きを感じる。から脱脚し、新しい芸術を作り出そうとする動きを感じる。



「バグス・バニー」1958年



「ドナルド・ダック」1958年



「無題」1959-60年

一九五七年、ニューヨーク州立大学オスウェゴ校で職を得て、工業デザインを教える。(一九六〇まで)この頃から、抽象表現主義的な絵画に取り組み始める。やがてマウスなど漫画のキャラクターを埋め込むが、納得のいくものにはならず、公開されることはない。絵の中に、風船ガムの包装紙などを採ったドナルド・ダックやミッキーマウスなど漫画のキャラクターを埋め込むが、納得のいくものにはならず、公開されることはない。数点のドローイングが現存する。

1954年に長男デヴィッド・ホイト、1956年に次男ミッチェル・ウィルソン誕生。

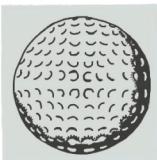
当時ラガーズには、ジョン・ケージ(1912-1992年)、ディヴィッド・チーダー(1926-1996年)、マース・カニングハム(1919-2009年)、ロバート・ラウエンバーグ(1925-2008年)など各分野で先駆的な試みを行なう芸術家が集う場所であった。

カ。プローティリキテンシュタインは学生に色々なうえでどのように教えるか話し始めた。



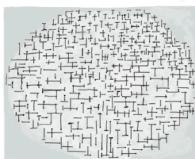
《ホーリーを持つ少女》1961年

記号と記号のつながりが「ゴルフボールの开场を作る。ピート・モンドリアンの水平線と垂直直線の交差から成るプラス・マイナスを想起させる。



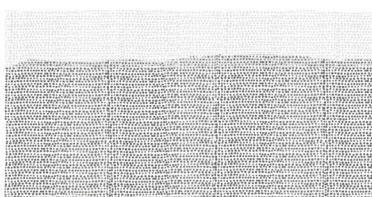
「コルフボール」1962年

1988年にもプラス・マイナスを題材に作品を制作している。



ピート・モンドリアン《黒と白のコンポジション10》1915年

平塗りされた部分もない、完全に点だけで描かれた風景画。作品が大きくなるにつれて点も大きくなる。



《沿岸地方》1964年

一九六四年、ラトガーズ大学の教職を離れ、作品制作に専念し、漫画の背景から取った風景画など、新たな主題に取り組む。



《詩經》卷之二

影や反射は
現実？錯覚？

典型的な美とは？



『ブロンド』1965年

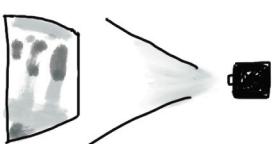
ラトガーズの元同僚で陶芸家の許家光（ハイカウカン、一九一一年三月五日生）の協力を得て、陶芸作品の「頭部」と「カップ＆ソーサー」のシリーズを制作。二次元の印刷物にある影や反射を表すドットを三次元の彫刻に描く。

リキテンシミュレーションは、印刷物のような工業的な質をを目指し、制作方法を改良し続けた。新たにプロジェクターを取り入れ、油絵具に加えて塗り直しが容易なアクリル絵具マグナを使い始めた。またペンティッドットを均一に描くため様々な方法を試み、金属に穴を開けた型を作り、点を描くアシスタントを開けた紙ににかわを伸ばしキヤバスに貼り付け、その上からラジシグ絵具を重く方法が採用された。

機械複製と手作業による制作過程

機械複製：ドロ-イングをプロジェクター上に投影する。

機械複製：漫画や広告など印刷物を
参照。漫画の場合、コマを抜き出す。



合作業：金錢算一算，給貝子指



コシス7-7 ALL American Men of War
no.90 April 1962



『発砲したとき』 1964年
3点組の1点



手作業：プロジェクトに収まる小さなサイズで、
絵を描く。後にカラー化を施す。

一九六〇年代後半、作品の主題は、徐々に漫畫や日用品から美術へと移っていく。リキテン・シャインは、作品を通して、過去や同時代の美術の動向や他の作家の作品を取り上げ、印刷図版を元に日常的なものに見えるように言ふ換えていた。



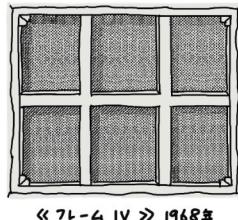
《モダン・ヘッド》1974年
(1989年頃製造)
松本歯科大学に設置されている。



《古巴風頭部のある近代絵画》1967年



《鏡#1》1969年
「キャンバスの木」を題材としたアート・デコを基調とした近代絵画シリーズ。建築や、デザインの幾何学的な装飾を絵画や彫刻に書き換えた。



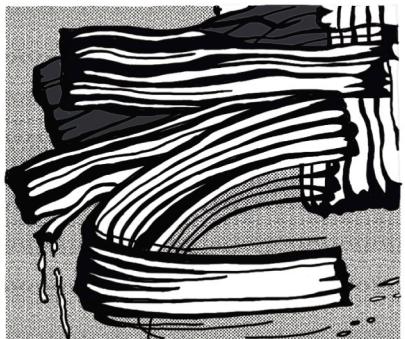
《フレーム IV》1968年

リキテン・シャインの子供時代の一九二〇年代に流行したアート・デコを基調とした近代絵画シリーズ。建築や、デザインの幾何学的な装飾を絵画や彫刻に書き換えた。

ノートの表紙を描いた「コンボージション」(一九六〇年)、「キャンバスの木」そして「鏡」のシリーズは、キャンバスの形と描かれたものの形を一致させ、絵を二つの物体として表し、絵画と刷りの境界を曖昧にする。この現象は、フランク・ステラ(一九三六-二〇〇四年)が用いたシェイプ・ト・キャンバス(四角形ではなく、変形したキャンバス)の作品にも見られる。

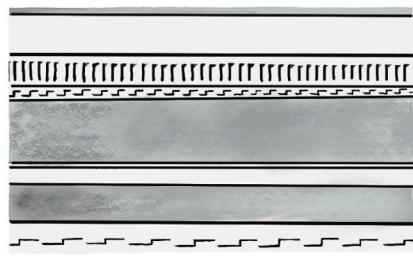
「キャンバスの木」は、絵の裏のキャンバスと木枠を、たまし会の手法で描く。写実的ではなく、漫畫のように描かれていたため、見る人がそれを本物だと錯覚しだまされたりすることはない。「鏡」は、キャンバス全体を鏡に模し、实物大で示される。拡大鏡に映る抽象的な風景や形を写真に撮り、参考にして、抽象的な風景や形を写真に撮る。すると、ラグーンやカーラー・プリント、ペインティングなど、連続性を示唆している。

「キャンバスの木」は、絵の裏のキャンバスと木枠を、たまし会の手法で描く。写実的ではなく、漫畫のように描かれていたため、見る人がそれを本物だと錯覚しだまされたりすることはない。「鏡」は、キャンバス全体を鏡に模し、实物大で示される。拡大鏡に映る抽象的な風景や形を写真に撮り、参考にして、抽象的な風景や形を写真に撮る。すると、ラグーンやカーラー・プリント、ペインティングなど、連続性を示唆している。



《リトル・ピッグ・ペインティング》1965年

一九六五年より繰り返し登場する抽象表現主義を連想させる「ブラッッシュストローク」(筆等の動き)のシリーズ。塗を塗る男の漫畫のその後、ブラッッシュストロークに焦点が絞られる。絵の中にある、ブランディングストロークは、一見すると大きな身軽さを伝えるが、実際には丹念に描かれている。刷りも作られた。

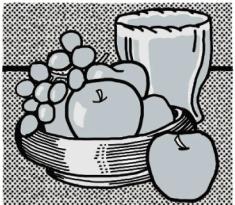


《エンタベレキュア》1974年

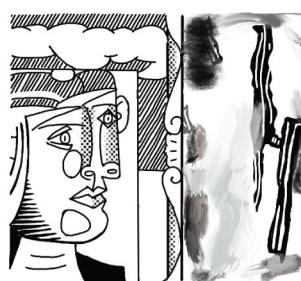
「キャンバスの木」を題材としたアート・デコを基調とした近代絵画シリーズ。建築や、デザインの幾何学的な装飾を絵画や彫刻に書き換えた。

ノートの表紙を描いた「コンボージョン」(一九六〇年)、「キャンバスの木」そして「鏡」のシリーズは、キャンバスの形と描かれたものの形を一致させ、絵を二つの物体として表し、絵画と刷りの境界を曖昧にする。この現象は、フランク・ステラ(一九三六-二〇〇四年)が用いたシェイプ・ト・キャンバス(四角形ではなく、変形したキャンバス)の作品にも見られる。

一九七〇年代の静物画は、日用品などを単独で描いた一九六〇年代の作品と異なり、伝統的な静物画の主題、果物や食器などを組み合せて描かる。それが、カタログや広告を元に、実物や食器の反射をハイライトや線を用いて強調する。



《静物》1972年



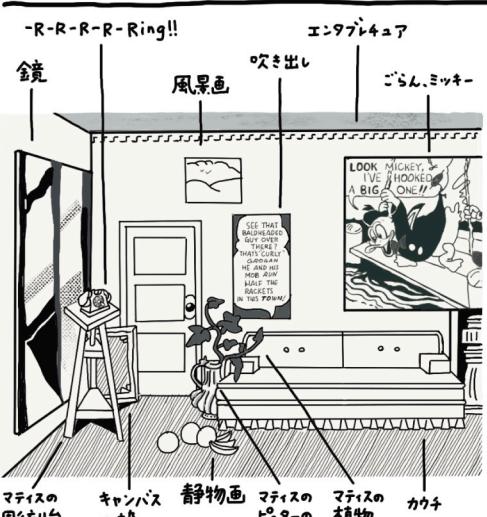
《絵画: ピカソ 頭部 (Paintings: Picasso Head)》1984年



《反射: アート》1988年

「キャンバスの木」を題材としたアート・デコを基調とした近代絵画シリーズ。建築や、デザインの幾何学的な装飾を絵画や彫刻に書き換えた。

ノートの表紙を描いた「コンボージョン」(一九六〇年)、「キャンバスの木」そして「鏡」のシリーズは、キャンバスの形と描かれたものの形を一致させ、絵を二つの物体として表し、絵画と刷りの境界を曖昧にする。この現象は、フランク・ステラ(一九三六-二〇〇四年)が用いたシェイプ・ト・キャンバス(四角形ではなく、変形したキャンバス)の作品にも見られる。



《画家のアトリエ、ごらん・ミッキー》1973年

アンリ・マティス(一八六九-一九五四年)のアトリエの絵に想ひ得て、自身の過去作やマティスの作品から引用し、組み合わせて描く画家のアトリエシリーズ。



《ハウス I》1997年
(1998年製造)